

令和4年度第1回坂井市総合教育会議 会議録（概要）

日 時：令和4年7月22日（金）午後1時30分より2時55分まで

場 所：坂井市役所 205会議室

【会議日程】

1 協 議

- (1)第二次坂井市教育振興基本計画の進捗状況について
- (2)令和4年度坂井市教育委員会主要事業について
- (3)その他

【出席者】

池田禎孝市長、林晃司教育長、牧田靖夫教育長職務代理者、田中典夫委員、
宮崎美恵子委員、橋本明子委員

総務部 松本総務部長

教育部 古川次長(生涯学習スポーツ課長)、矢尾次長(市立図書館長)
上田教育審議監

教育総務課 井尻課長

学校教育課 宇野課長

文化課 高倉課長

事務局書記 森田参事、高嶋補佐

【会議概要】

市 長 (あいさつ)

こんにちは。お忙しい中「坂井市総合教育会議」にお集まりいただきありがとうございます。市長に就任し、3ヶ月になった。議会もあり、教育関係の補正予算を組ませていただいた。加えて、一昨日は、坂井、三国、丸岡高校、その前は市内5つの中学校の生徒の皆さんへお話をさせていただいた。坂井市のよさ、住環境、食物、自然、歴史等々を再認識してほしいということを伝えた。あとは、若い時にいろいろな経験をし、勉強を初め、部活動、友達づくり、さらには地域づくりにも一生懸命取り組んでほしいと話した。昨日は雄島地区で「さかい未来創造座談会」をさせていただき16人の方とお話をさせていただいた。地元の要望や三国地区のこれからのビジョンもいただいた。子どもたちに地域の行事に参加してほしいという声もいただいた。学校からのアプローチや自治会などの方面から子どもたちに働きかけ、地域と密着していくことは大事だと考える。坂井市には祭りやイベントがたくさんある。その中に加わっていただいたり、見ていただいたりしてもらいたい。坂井市には4町あるが、それにとらわれず、広く知ってもらいたい。大人も同じだが、我がことととらえて、四町融和は進んでいるが、もうワンステップ進んだ坂井市づくりになっていくと思われる。

本日はこれまで進めてきた教育全般の取組、今年度の事業中心に説明し、忌憚のないご意見を頂きたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。

- 市長 第1回坂井市総合教育会議を開催する。
第二次坂井市教育振興基本計画の進捗状況について、事務局の説明を求める。
- 教育次長 「第二次坂井市教育振興基本計画の進捗状況」について私と教育審議監、図書館長の方から説明申し上げたあと、「令和4年度の主要事業」について、所管課毎に説明申し上げ、市長と教育委員の皆さまで活発な意見交換をしていただけたらと思っている。
- 教育審議監 基本計画1 就学前教育の充実、2 義務教育の充実について説明
- 教育次長 基本計画3 青少年の健全育成、5 芸術・文化の振興、6 歴史的資源の継承と活用、7 生涯学習スポーツのまちづくりについて説明
- 市立図書館長 基本計画4 生涯学習の充実と環境整備について説明
- 市長 ただ今の説明について何かないか。
- 宮崎委員 学級支援員の配置について、71名、前年より5人増というのは充分であるのか。まだ欲しいと言われているのかどういう状況か。また、前年度に配置を決めるとお聞きしているが、当年になって、支援の必要な児童生徒がいるとき、どう対応されているのか。
- 教育審議監 学校としては、何人であっても欲しいと要望はある。人員確保や雇用の点で、一気に増やすのは難しい。年度途中で突然支援が必要になることはまれだが、心の状態が落ち着かなかったり、病気の進行が進んで介助が必要ということはある。年度の途中でであっても、なんとか配置をやりくりしている。
- 宮崎委員 学校訪問で、校長から支援員に関して感謝される。続けて行ってほしい。
- 橋本委員 教育現場に長くいた者として、支援員がいてくださるのはとてもありがたい。学校訪問などで先生方と話をすると、支援を要する子が年度途中で出てくる。本当に必要なところへ必要な人材の配置をお願いしたい。
- 市長 募集はどのようにしているのか。
- 教育審議監 学校の状況を事務局職員で把握し、ハローワークで募集をかけ、面接し、採用する。
- 市長 71名というのは、児童生徒数の規模に照らして、多いのか少ないのか。
- 教育審議監 学級数に対してはそこそこだが、坂井市は学級当たりの児童生徒数が多いので、子ども一人当たりに換算すると少ない。配置は学級につき一人、となつ

てしまう。1 学級に基準ギリギリの子どもがいるため、学校としてはもっと欲しいという要望がある。

田中委員 他市に比べると、学級サポーターの配置はあまりないように思う。

教育審議監 登校支援員や、いきいきサポーターという名前でどの市町も支援員を入れてはいる。

市長 充実していくということで、必要なら年度途中の配置もどんどんしていくとよい。

牧田職務代理者 2点ある。1点目は、自転車のヘルメットについて、小学生の利用率を上げたい。PR や補助などについて検討いただきたい。2点目は、地域スポーツ指導者についてだが、新聞に福井市の剣道部は、福井市武道館に集まって行うとあった。おそらく地域の人が教えるのだと思うが、坂井市にそのような考えはあるのか。

教育審議監 地域スポーツについて、校長と教育委員会事務局で情報交換を行っている。福井市は、団体戦のチームを組めない学校があるが、坂井市ではある程度チームが組める。集まったの部活というと、やりやすいのは個人競技ではないかと思っている。また、地域のクラブが大会へ出場するのに、中学校体育連盟での準備が必要だ。それらの情報を収集しながら検討したい。

市長 市内には5つの中学校があるが、やりたい部活が、他にあって、ここにはない、という場合もある。そういうとき、生徒はどうするのか。ほかの学校でやってもいいのか。

教育審議監 今後はそういう方法もあるかもしれないが、現時点では、通う学校になれば、ある部活に入る。

田中委員 来週には城周辺整備の説明会がある。お城全体を見通し、20年、30年先を見通した整備をお願いしたい。耐震化について中断しているように思う。他に、駐車場の問題がある。ゲートがないため、周辺住民の駐車場になっている。また、丸岡体育館で行事があると、観光客用の駐車場に停める人も出てくる。公園整備と併せて考えてほしい。

文化課長 丸岡城周辺整備については観光交流課と進めている。耐震化について、新幹線延伸を見越して、観光交流課が文化庁と協議し、耐震計画を立て、実施していくと聞いている。

田中委員 文化課と観光交流課があり、窓口が2つあるようで、どちらが主体的にやっていくのか。

- 文化課長 丸岡城に関しては観光交流課の方でやっているが、文化財として必要があれば、文化課で対応する。例えば、丸岡城で何かあれば、観光交流課へ第一報が入り、見に行く。そこで必要があれば、文化課も見に行く。
- 市長 窓口としては観光交流課だ。その中で、国宝化なら文化課だけだ。整備について観光交流課1本とっているが、当然、教育委員会、教育長、一体的にやっていく部分はある。情報を共有させてもらっているということで、文化課長が答えたようなことになる。20年、30年先の計画というと、観光交流課がする。一筆啓上茶屋の移転に関して、新幹線開業までにするということが議会の了承も得た。次のステップとして、昨年作った丸岡城整備計画があり、実際のスケジュールをどう進めていくか、という具体的な計画は立てる必要がある、今進めている。耐震化については、文化課長が言ったように、すぐにでもやりたいが、坂井市文化財保存活用地域計画の中で、丸岡城の保存活用計画を今年と来年2年かけて作り、その後耐震化に取り掛かる。新幹線開業の時に耐震化の足場があると、丸岡城が見えない、それは見栄えが良くないので、苦渋の決断だが、2、3年延ばすことにした。駐車場に関しては、関係課と協議したい。
- 市長 まだご意見はあると思うが、ひとまず、次の説明に移る。
令和4年度坂井市教育委員会主要事業について
- 教育総務課長 施設整備計画に基づいた大規模改造工事について説明
- 学校教育課長 ふるさと坂井体験学習事業、不登校児童生徒への支援、きめ細かな教育と教員の負担軽減、多忙化解消の推進、学校給食の保護者負担の軽減、民間プール等の活用を通じた学校施設のマネジメント推進、学校ICTの推進について説明
- 生涯学習スポーツ課長 子ども会活動、合宿通学、青少年の見守り活動・非行防止の充実、国際交流事業、わんぱく王国事業、はたちのつどい事業、国内交流事業、WMG(ワールドマスターズゲームズ)の開催準備、トップチーム支援、ふくい桜マラソン、施設の改修等について説明
- 文化課長 坂井市文化財保存活用地域計画の作成、六呂瀬山古墳群調査整備事業の推進および調査報告書の作成、みくに龍翔館新常設展、みくに龍翔館展示以外のリニューアル事業について説明
- 市立図書館長 ブックスタート、どいかや講演会&原画展、三国図書館改修工事、くちなし忌、小葉田淳記念文庫歴史講演会について説明
- 市長 ただ今の説明にご質問はないか。先日、龍翔館と三国北小学校へ行ってきた。龍翔館の工事は70%のところだが、かなり素晴らしい施設になっている。完成がとても楽しみで、市内外の子どもたちにぜひ見ていただきたい。外か

ら見ても中から見てもいい。三国北小学校からは目の前に見えて、いい施設だなと思った。県立美術館では、戸田正寿さん（坂井市出身、在住）の特別展をやっている。龍翔館の中を戸田正寿さんにお手伝いいただくことで進めており、楽しみだ。ここからはフリートークで、全体を通しておひとりずつ発言いただきたい。宮崎委員からお願いします。

宮崎委員 三国図書館の工事期間中の、臨時窓口での本の貸し借りはどうなのか。

市立図書館長 予約したものについての貸出しはできる。インターネット予約、電話、臨時窓口に出向いての予約ができる。

宮崎委員 例えば春江図書館で借りたものを三国図書館で返却してもよいのか。

市立図書館長 はい。

宮崎委員 一住民として、草が気になる。住んでいる地域の奉仕作業が年1、2回だけあったものが、コロナの影響もあるのか、なくなった。敷地以外のところは関係ないという考えがあるのかもしれない。地域をきれいにしようという意識醸成をしていってもらえるといい。

市長 実は昨日、雄島地区でも同じようなお話をいただいた。それは、草を何とかしてもらいたいということだ。危険な箇所は行政でしないといけないかもしれないが、まずは地域の人で対応いただきたいと申し上げた。私の住んでいる地域では、毎月第1日曜日に朝6：30に集まり、公園、川べり、道路の清掃をしている。大変な面もあるが、地域や人とのつながりになっていると感じる。皆様方も地域で広めていただきたい。これから22か所のまちづくり協議会へ出かけるので、お話ししてこようと思う。

牧田職務代理者 タブレットが1人1台となり、携帯電話が小学生で30%くらい所持しており、中学生ではもっと持っている。インターネットを使った犯罪や、誹謗中傷について危ない場面も起きているはず。福井市では監視していると聞くものを坂井市でもしてほしい。

橋本委員 ブックスタートはすごくいい。いつからあるのか。

市立図書館長 平成26年度からしている。2冊の本と読み聞かせのコツ、推奨図書の資料を入れてカバンをプレゼントしている。

橋本委員 自分の子育ての時にあったらよかったな、と思う。本は決まっているのか。

市立図書館長 何種類かから選べるようになっている。

橋本委員 贈られてしまうと、持っているものと重なることもあるから、選べるのも

とてもいい。もう一つ聞きたいのは、「ふく e 刊」とはどんなものなのか。

学校教育課長 「ふく e 刊」は主に社会科の授業で使っている。福井新聞の記事の中から、毎日、子供向けによさそうな記事が4つほど送られてくる。それをタブレット内で活用する。新聞を読む習慣をつけるようなことに活用させていただいている。

橋本委員 中学2年生と小学5年生に限っているのか。

学校教育課長 今のところ、試行で、今後実証をして、広げていこうかと考えている。

田中委員 NIEとしてもやっているのか。

学校教育課長 併せてICT教育としてもやっている。

田中委員 丸岡スポーツランドの新幹線高架下の整備はどのようになるのか。

生涯学習スポーツ課長 高架下は、バックヤードも含め、鉄道運輸機構へお貸ししていた。工事が終わりつつあるので、戻ってくる。芝生にする費用を補償費としていただいているので、芝生化する。

田中委員 芝生にしてサッカーに使用するのか。

生涯学習スポーツ課長 以前はグラウンドゴルフ場があったので、そのように活用したい。

田中委員 スケートボードの施設を三国に作る話を聞いたが、丸岡の子どもが行くには遠いし、手段がない。高架下を活用できるといいなと思った。

生涯学習スポーツ課長 スケートボードについては、スポーツ協会と協議はしており、丸岡スポーツランドの西側にインター線の関係で狭い駐車場があり、そこを活用できないかと考えている。夜には人工芝の周りでスケートボードをしているから、そちらへ誘導していこうと考えている。

市長 最近、スケートボードは盛り上がっている。30年前に広場で野球をしていたものが変わってきているのかと思うので、時代に合わせて少しでもニーズに応えられる場所を検討したい。教育長からひと言お願いします。

教育長 大変貴重なご意見等を伺いありがたく思っている。第二次坂井市教育振興基本計画はスタートしてまだ1年余りなので、随時見直し、皆様のご意見を賜りながら充実した教育環境を整備していきたい。

市長 これをもって本日の会議を閉会する。